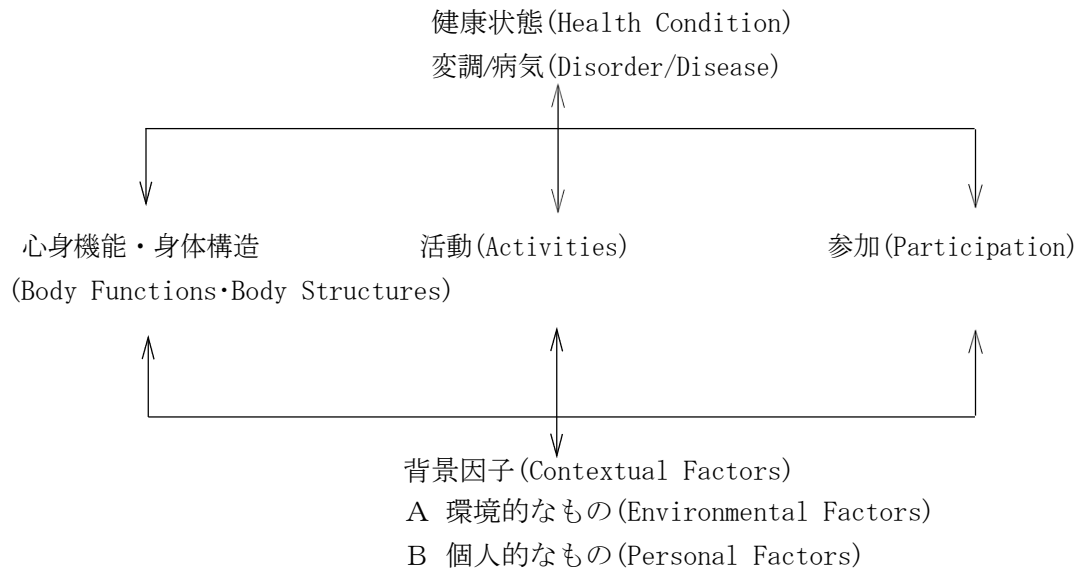


障害は、世界保健機関（WHO）では、下図に示す諸要素の相互関係で表されている。



障害は、機能障害などによる日常生活での活動の制約や、就職など社会参加の制限に関連するが、それだけで障害は理解されるものではない。健康状態と、環境または個人的な背景因子との間の相互作用あるいは相互関係として表す必要があるとされている。各因子間の関係は極めて多様で複雑であり、図式の単純な理解は避けなければならないが、各因子のレベルの変化に応じて障害の質や程度も変化するのである。

医療の進歩や交通手段における障害対応機能の改良（環境因子）が、身体障害者の健康状態の改善や移動能力の拡大につながり、活動制約や参加制限の緩和や減少を通じて、障害の改善・克服をもたらすのは、その一例である。

（「国際生活機能分類（ICF）」）